

歴史を感じて

三輪②弥永マップ

この資料は、筑前町の歴史、三輪の昔ばなしなどをもとに作成しています。

ぷら～り





散歩



これからの時代、健康づくりが大切です。歴史を感じながら散歩を楽しみましょう。コロナに負けるな!

弥永

神社	大己貴神社 
	田神社(日隅宮?)
寺院	浄光寺
古墳	乃木松古墳群
伝承と民話	神功皇后と羽白熊鷲
その他	一里松と夜泣き松
	芭蕉の句碑
	薬師堂
	道標
公園	小鷹城跡
	歴史の里公園 

★ 弥永は、日本最古の一つといわれる大己貴神社があり、伝説、古墳、城跡等があります。散歩をされる方も多く、歴史の里公園を起点に目配山に登山される方も多いようです。



猿田毘古神 (さるたびこ)

弥永の信号機横の
公園にあります



福岡県の北部には、大きな自然石に猿田彦(猿田毘古)の名を書いたものが各地で見られます。村の入口に置かれて、村を守っていました。道路が大きくなった現代でも、片隅に置かれたりしているのを見かけます。

2020年6月には、歩行ライン(青色)も引かれ、さらに安全に散歩ができるようになりました。歴史を探索しながらの散歩も楽しみです。(さらに、安全に散歩するなら、公民館の裏の道、さらに奥にある農道がおすすめです。)

歩行者 ライン



★地名の由来や伝承等ご存じの方は、下記までご連絡ください。

お問合せ:筑前町社会福祉協議会

(筑前町篠隈373コスモスプラザ福祉館)

TEL: 0946-42-4555(担当 時津、石丸)

Eメール: chikuzenshakyo@tea.ocn.ne.jp

神功皇后と羽白熊鷲(説話)

所在地 筑前町弥永字谷口四五九の一番地(歴史の里公園)
昔、羽白熊鷲という在地の豪族が本拠を朝倉氏秋月の「荷持」(野鳥)に構え、筑前町一帯を支配していました。熊鷲は白い鳥の羽根を付けて鷲舞いを演じ、「まつりごと」を行う鳥装の司祭者です。

ある年、ヤマトの国から神功皇后が九州にやって来て、香椎(福岡県東区香椎)に宮を定めました。そして、皇后は朝鮮半島の新羅と戦うため、各地の豪族に命令を出し、多くの兵士を集めさせました。しかし、熊鷲はこの命令に従いませんでした。

皇后はたいそう怒り、新羅出兵の前に熊鷲を征伐することにし、軍隊を香椎の宮から朝倉地方へ進撃させました。皇后軍は筑前町の砥上方面から熊鷲の領地へ侵攻し、森山峠を越えて、栗田に到着したと想定されます。しかし、皇后は栗田で行軍を一旦停止させ、「松峡」(筑前町栗田字松尾)に宮を定めました。決戦は「層増岐野」(注ぎ野・新町・高上付近)で行われました。そして、皇后は熊鷲を征服し「我が心安し」(私は安心した)と語りました。この「安」が当地方の郡名起源とされ、後に「夜須」(郡)の二文字に改められました。

熊鷲平定後、新羅の兵士はなかなか集まらず、皇后は「大己貴神社」(大神屋敷)に社を建て、矛をささげました。これは勝者が打ちこんだ楔、あるいは熊鷲の鎮魂だったのでしょうか。いずれにしても、熊鷲という在地豪族がヤマト(中央)政権に組み込まれていく過程を物語るのでしょう。

弥永周辺は、広い扇状地の要に位置し、古代の雲堤(溝)郷に想定されています。かつて、草場川から依井～上高場にかけて「千間溝」(千八百メートル)があったといわれています。ただ、何時、誰が掘らせたのか、既に江戸時代にはわからなくなっていました。皇后が四方に目を配ったという「目配山」(山頂に皇后腰掛け石)は「水分山」の転訛とも考えられ、そうであれば水利権を掌握する権力機構の存在も想定できます。

仮に、この「千間溝」を古代の造営とすれば、その築造者は、弥永の大己貴神社の大神さま(羽白熊鷲と同一人物か)、あるいは久光にある仙道古墳(六世紀後半)の被葬者が想起されます。また吹田に「鷲鬼塚古墳」(五世紀)、朝倉市の矢の竹に「熊鷲塚」などの伝承地があります。

弥永マップ

小鷹城（梨木城）跡

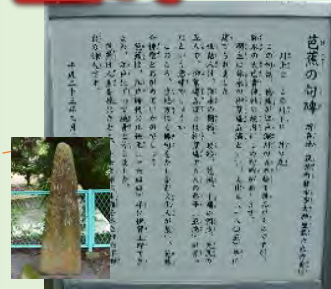
三輪一步会の看板



大己貴神社



芭蕉の句



一里松と夜泣き松



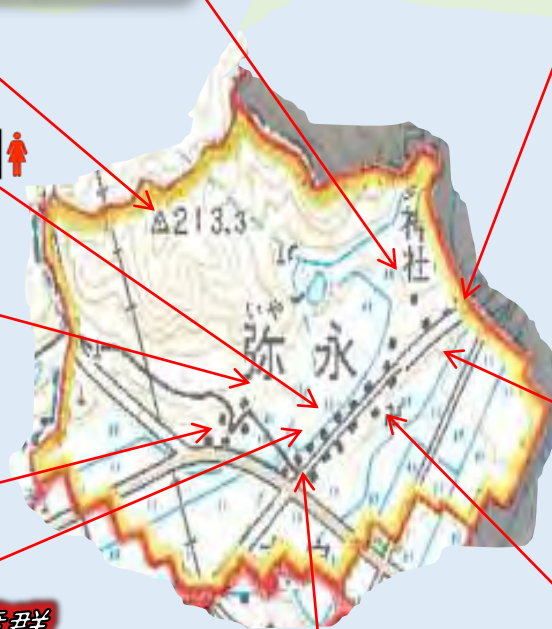
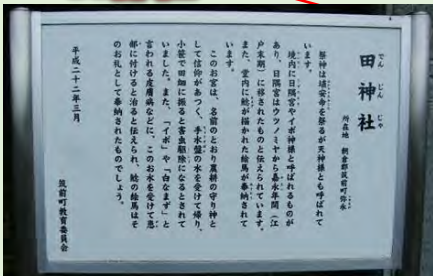
夜泣き松(伝承)

この松の皮をはいて、寝床の下に敷いて寝ると子供の夜泣きが直ると言われています。物語りは、「徳川三代将軍家光の頃、秋月に志満屋という大商人がいました。志満屋に春香といって、秋月小町とよばれるほど美しく、優しい娘がいました。ところが、ある日突然に春香が姿を消してしまい、志満屋は必至でさがしましたが、見つけることはできませんでした。この事件も忘れられた頃、弥永の松のあたりで赤ん坊を抱いたやつれ果てた女が見られました。その女が春香であることに気づいた時には、どこへ行ったか姿はありませんでした。その後大きな松から赤ん坊が泣くような声が聞こえ夜泣き松と呼ばれるようになりました。」この松も昭和40年代に枯れ、現在の物は後世に植えられたものが立っています。

弥永公民館



田神社

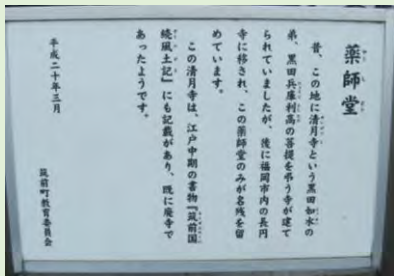


歴史の里公園

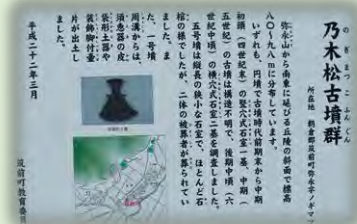
神功皇后と羽白隈鷲



薬師堂



乃木松古墳群



道標



浄光寺

